

研究区分	教員特別研究推進 教育推進
------	---------------

研究テーマ	東アジア学術・文化交流のオフキャンパス型アップデート（その2）				
研究組織	代表者	所属・職名	国際関係学研究科・教授 (現代韓国朝鮮研究センター兼務)	氏名	奥菌 秀樹
	研究分担者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	小針 進
		所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	澤崎 宏一
		所属・職名	国際関係学部・助教	氏名	青山 知靖
		所属・職名	韓国東西大学校・外国語学部・教授	氏名	李 元範
		所属・職名	韓国東西大学校・日本研究センター・研究員	氏名	山口 達見
		所属・職名	韓国延世大学校・政経学部・副教授	氏名	朴 成皓
		所属・職名	韓国延世大学校・政経学部・助教	氏名	金 亨鐘
		所属・職名	中国延辺大学・外国語学院・副院長	氏名	全 永男
		所属・職名	中国延辺大学・国際交流合作処・処長	氏名	金 永燦
		所属・職名	中国延辺大学・国際交流合作処・海外事科長	氏名	黄 琴
発表者	所属・職名	国際関係学部・助教	氏名	青山 知靖	

講演題目	多言語コミュニケーションのためのスペイン語タイピング教材の作成
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>本研究が目指す東アジア学術・文化交流のオフキャンパス型アップデートを達成するためには、学術・文化交流に参画する本学学生の多言語コミュニケーション能力を総合的に向上させる必要がある。そこで本研究では、Windows パソコンと Microsoft Word の活用に焦点を当て、多言語コミュニケーション能力の向上を目指すことに取り組んだ。今年度は、スペイン語の初学者である国際関係学部1年生（「スペイン語 I」受講生）を対象とし、授業の補助教材を試行的に作成した。</p> <p>教材は以下の4部門から構成される。第一部は、スペイン語のタイピング練習を行うための予備知識を復習するための教材である。ここでは、大文字小文字の区別や分かち書き、パンクチュエーションなど、英語タイピングの基礎的なルールを復習する。</p> <p>第二部は、スペイン語の特殊文字を入力するためのショートカットキーの一覧である。スペイン語には英語にはない á ñ ñ ñ などの特殊文字が使われるが、これらはすべて簡単なキーボード操作「キーボードショートカット」で入力できる。特殊文字を大文字でも入力できるように、ショートカットを繰り返し練習し、スペイン語のタイピング技能を確実に習得する。</p> <p>第三部は、人名や地名などの固有名詞や簡単なあいさつや慣用表現などの短文の入力を練習するための教材である。今年度の試作教材では、スペイン語文化圏のサブカルチャーとしてサッカーとプロレスを取り上げた。タイピングを楽しく練習できるように、かつ、読み物としても興味深くなるように、スペイン語表現に日本語訳や英語訳を添えるなどの工夫を加えた。</p> <p>第四部は、スペイン語以外の外国語を入力するための自習教材である。特殊文字を入力するためのショートカットキーを応用すると、フランス語の à ç やドイツ語の ü ß などの特殊文字も簡単に入力できるようになる。学生は、ヨーロッパ言語の学習にはショートカットキーの習得が必須であることを理解する。また、ロシア語、中国語、韓国語などの外国語を入力するためには、Windows の初期設定を変更して「言語の追加」を行う必要があることも学ぶことになる。</p> <p>今後は、ヨーロッパ言語以外の東アジア言語、特に、韓国語と中国語の初学者を対象とした教材を作成することを目指す。本学学生の多言語コミュニケーション能力を総合的に向上させることを通じて、本学を中心とした東アジア学術・文化交流に積極的に参加する人材の育成に取り組む。</p>